令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名			岡山県立和気閑谷高等学校			
実践者等			植田雅也 実践日		令和4年5月19E	
実践場面			数学I・数と式(展開と因数分解)			
(教科・科目	(単元名)、:	学校行事等)				
対象生徒(学年等)			普通科1年生			
育成を目指す資質・能力			■知識・技能 □思考力・判断力・表現力等 □学びに向かう力・人間性等			
分類	授業中	■クラウト	ヾやアプリの活用 ■デジタ	マルデータ	の保存	■思考やデータの可視化
		■データの)共有や共同編集 □対話	を充実させ	せる活用	□思考を促す活用
		□表現を発	E実させる活用 ■課題の	りやり取り)と評価の支援	■効率化や省力化
		□その他	()			
	家庭学習	口振り返	り ■探究 □反転学	習	補習・定着	
D14 0 + D						

実践の内容

【授業】

①小テスト

ClassPad. net の提出 BOX を 活用し、回収・添削を行う。





②情報収集

家庭学習で集めていた用語をクラスメイトと共有する。用語同士の関連付けを 明確にする。

③デザイン開始

より直感的で、自分のイメージに合う 言葉や絵、色付けで表現する。生徒が

これまでに学習した数式や用語を関連付け、「体系的な知識」の獲得を目指す。



互いのデザインを交換し、説明し合う。自分の発想にないデザインに触れることで、より多面的に単元内容を理解することができる。

【本時と家庭学習との連動】

(本時前)

「展開・因数分解」に関連する用語を調べ、ClassPad.net の提出 BOX に提出させる。

(本時後)

- ①優秀なデザインについては「グッドデザイン集」として Classroom で共有する。クラスメイトの単元イメージを共有することで、各自の理解のしやすいデザインを発見させ、個別最適な理解を補助する。
- ②課題プリントを配布する。(ClassPad. net で回収。)

